



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

○すすんで学習する子(知) ○思いやりのある子(徳) ○たくましい子(体)

第20号 令和3年7月15日発行

1学期のまとめを

今学期も残りわずかとなりました。今年度も感染症防止の取り組みをしながらの教育活動となりました。そのような中でも、子どもたちは元気に学校生活を送ってきました。

まず、集団登校では上級生の班長さんが下級生を安全に学校まで連れてきてくれました。先日、他県で下校途中の小学生が亡くなる痛ましい事故がありました。交通事故から身を守るために交通ルールをしっかりと身に付ける必要があります。そのためにも集団登校は、道路の右側を歩くことや横断歩道を渡るときは左右を確認することなどの正しい交通ルールを身に付ける場でもあります。その集団登校がしっかりと行われたことをうれしく思います。さらに、班長さんが下級生の歩くスピードを考えて歩を進める配慮に思いやりの心が感じられました。上級生としての心の成長を見る思いでした。

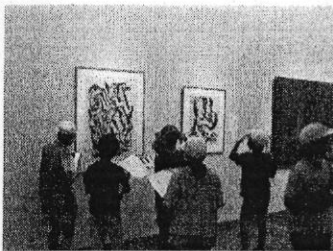
また、日々の授業で教師や友達の話をしっかりと聞いたり、算数の問題などを自分の力で解いたりなど、真剣な学習態度がすばらしいと思いました。タブレットを活用して、自分の考えを友達に送ったり、それをもとにみんなで話し合ったりすることができました。本校の課題の一つが「自分の考えを伝えるのが苦手」なことですが、タブレットの活用も含め進んで考えを伝えられるようになってきたと思います。

さらに、4月に比べてあいさつがしっかりできるようになってきた姿にも成長を感じています。朝の登校時や休み時間の時など、「自分から」「相手を見て」「聞こえるように」あいさつできる子が増えました。今後も、あいさつを小原田小の伝統にしていければと思います。家庭でのあいさつは、いかがでしょうか。一声掛けていただければ幸いです。

本校では、『すすんで学習する子』『思いやりのある子』『たくましい子』を目指す児童像に掲げて日々教育活動を展開しています。目指す児童像に向かって、残りの1学期間を有意義に過ごせるように指導していきたいと思ひます。

日頃より保護者の皆様には家庭学習の確認や水着の準備等、ご協力いただきましてありがとうございます。残りの1学期間もよろしくお願いいたします。

郷土を学ぶ体験学習～4年生



9日(金)に4年生が「郷土を学ぶ体験学習」として、郡山市立美術館とふれあい科学館に行ってきました。郡山の施設で学習することで、その施設の良さを実感したり様々なことを学んだりすることができました。今回の学習を通して、郷土郡山への理解がさらに進んだことと思ひます。



【児童の感想】

- 私はこの「郷土を学ぶ体験学習」で学んだことは二つあります。一つ目は、郡山には「スペースパーク」という宇宙のことがいろいろ学べる所があるということです。二つ目は、美術館では作品を「集める」「見る」「守る」などをする所だと分かったことです。初めての「郷土を学ぶ体験学習」は楽しかったし、勉強になりました。またこのような機会があるといいです。
- 美術館で「無言館展」を見ました。私は、ポスターにもなっていた「静子」という絵が気に入りました。出征する前にかかれた絵で、愛じょうと悲しみを感じました。初めて美術館に行ったので、楽しかったです。
- 美術館で心にのこった作品は高橋良松さんの「鶏頭の花図」という作品です。昔の絵の具を使っていて、色がうすいところもあれば色がこいところもあり、きれいな作品だからです。最後はスペースパークに行き、プラネタリウムを見ました。星ざのことや郡山市のことを見たり聞いたりしました。いろいろなことが学べて楽しい1日になったなあと思ひました。